

富山県内の中小企業動向調査  
ファーストTrend

2024年7月号

-----  
**CONTENTS**  
-----

1. 中小企業動向調査 [2024年4～6月実績/7～9月見込/10～12月予測]
  2. 現在の業況、賃金の動向について
-

## 中小企業動向調査（2024年6月末日基準）

この調査は、富山県内企業329社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、2024年4月～6月の実績、2024年7月～9月の見込、2024年10月～12月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
329（641）
うち、製造業66社、非製造業263社

調査時期：2024年7月

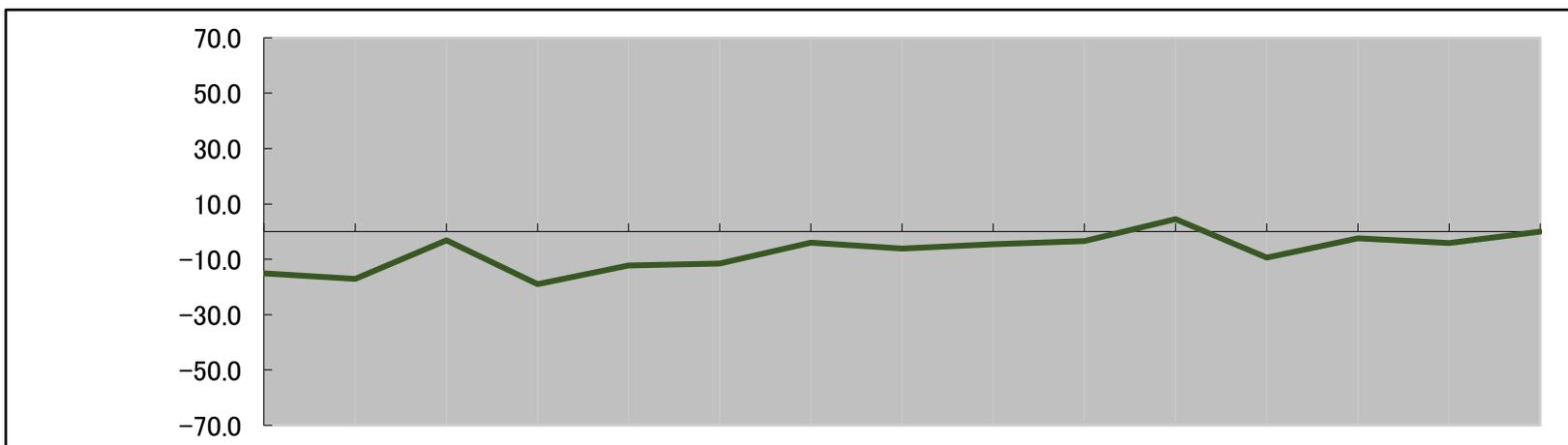
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2024年7月に公表した「富山県金融経済クォーター2024年夏」によると、「富山県の景気は回復に向けた動きがみられている。最終需要をみると、個人消費は、回復に向けた動きがみられている。住宅投資は、先行きは復旧需要等が見込まれるものの、足もとは減少している。設備投資は、増加している。公共投資は、足もと増加している。当地製造業の生産は、持ち直しつつある。業種別に現時点の状況を見ると、電気機械は、低水準で横ばい圏内の動きとなっている。医薬品を中心とする化学は、持ち直している。このほか、金属製品は、減少している。汎用・生産用・業務用機械は弱含んでいる」とあります。中小企業の景況感は全体的に持ち直しの動きはみられるものの、製造業を中心に足踏みが見られます。

### I. 企業業況

(小数点第2位を四捨五入)

企業業況の推移……（全産業）		（%）															見込	予測
		2021			2022			2023			2024							
種別	期別	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
	良	い	17.3	15.4	22.0	17.4	17.2	16.3	22.6	20.7	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	14.3	14.6	
普	通	50.4	52.1	52.8	46.2	53.5	55.8	50.9	52.4	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	67.2	70.8		
悪	い	32.4	32.5	25.2	36.4	29.4	27.9	26.5	26.9	25.1	23.9	19.7	28	22.8	18.5	14.6		
D . I .		-15.1	-17.1	-3.2	-19.0	-12.2	-11.6	-4.0	-6.2	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	-4.2	0		



富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス2.4となり、前回比7.0ポイント改善しました。先行きについては、2024年7～9月以降は悪化見込みですが、その後は改善傾向となる予想です。

## I. 企業業況（続き）

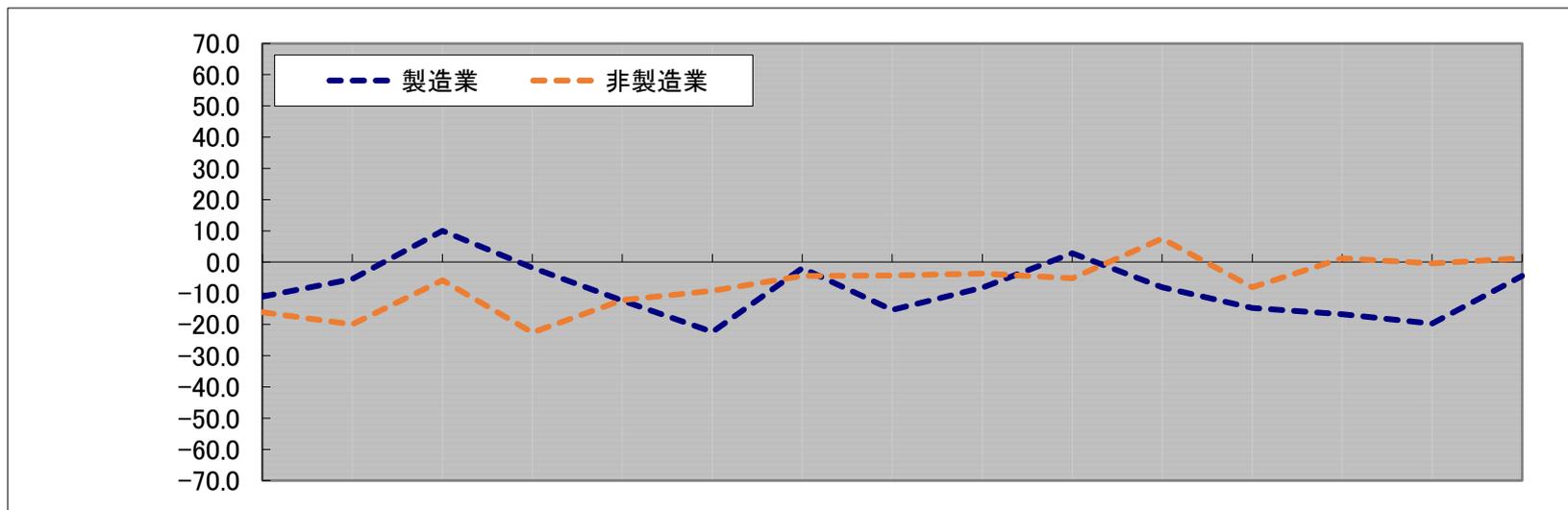
企業業況の推移……（うち製造業のみ）

（小数点第2位を四捨五入）

		（%）															見込	予測
		2021			2022			2023			2024							
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	20.4	23.6	36.7	30.9	24.6	15.5	26.4	25.0	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	12.1	16.7		
普	通	48.1	47.3	36.7	36.4	38.6	46.6	45.3	34.6	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	56.1	62.1		
悪	い	31.5	29.1	26.7	32.7	36.8	37.9	28.3	40.4	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	31.8	21.2		
D . I .		-11.1	-5.5	10.0	-1.8	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-19.7	-4.5		

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）															見込	予測
		2021			2022			2023			2024							
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	16.5	13.3	19.2	14.6	15.7	16.5	21.8	19.8	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	14.8	14.1		
普	通	50.9	53.3	55.9	48.3	56.4	57.9	52.0	56.0	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	70.0	73.0		
悪	い	32.6	33.3	24.9	37.2	27.9	25.7	26.2	24.1	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	15.2	12.9		
D . I .		-16.1	-20.0	-5.8	-22.6	-12.2	-9.2	-4.4	-4.3	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	-0.4	1.2		



製造業と非製造業に分けて見ると、製造業の業況判断指数D.I.は、マイナス16.7となり、前回比2.0ポイントの悪化となりました。非製造業ではプラス1.2となり、前回比9.3ポイントと大幅に改善しました。製造業では2024年7月も業況D.I.は引き続きマイナスとなる予想です。

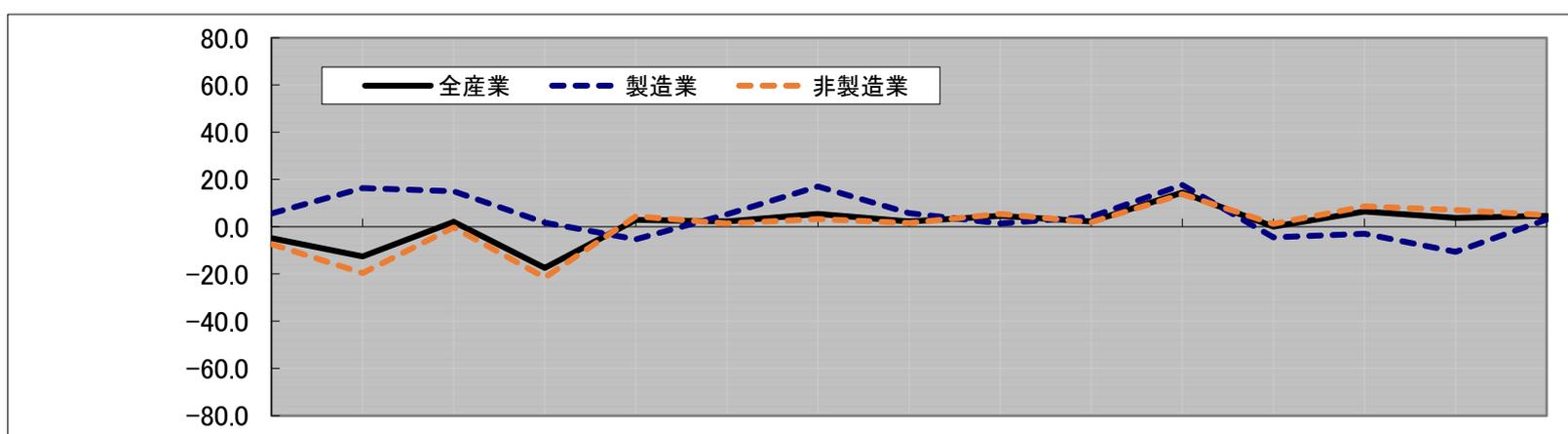
## II. 売上高状況

(小数点第2位を四捨五入)

		2021			2022			2023			2024			見込	予測	
		4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
増	加	24.6	20.0	28.4	16.8	27.6	25.7	27.7	26.5	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	20.1	19.5
横	ばい	46.0	47.5	45.3	49.1	47.7	50.8	50.0	49.2	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	63.5	65.6
減	少	29.4	32.5	26.3	34.2	24.7	23.5	22.3	24.3	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	16.4	14.9
D .	I .	-4.8	-12.5	2.1	-17.4	2.9	2.2	5.5	2.3	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	3.7	4.6

		2021			2022			2023			2024			見込	予測	
		4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
増	加	29.6	30.9	40.0	27.3	24.6	32.8	37.7	34.6	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	18.2	25.8
横	ばい	46.3	54.5	35.0	47.3	45.6	39.7	41.5	36.5	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	53.0	51.5
減	少	24.1	14.5	25.0	25.5	29.8	27.6	20.8	28.8	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	28.8	22.7
D .	I .	5.6	16.4	15.0	1.8	-5.3	5.2	17.0	5.8	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-10.6	3.1

		2021			2022			2023			2024			見込	予測	
		4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
増	加	23.4	17.3	26.2	14.6	28.2	24.1	25.8	24.9	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	20.5	17.9
横	ばい	45.9	45.8	47.3	49.4	48.1	53.3	51.6	51.8	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	66.2	69.2
減	少	30.7	36.9	26.5	36.0	23.7	22.6	22.5	23.3	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	13.3	12.9
D .	I .	-7.3	-19.6	-0.3	-21.5	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	7.2	5.0



売上高D.I.は全産業ではプラス6.4となり、前回比6.4ポイント改善しました。2024年7月以降の売上高D.I.はプラス圏内に留まる見込です。

製造業と非製造業に分けて見ると、製造業ではマイナス3.0となり、前回比1.4ポイント改善しました。2024年7月~9月は悪化予想であるものの、2024年10月~12月は改善予想となっています。非製造業はプラス8.7となり、前回比7.5ポイント改善しました。2024年7月以降は若干の悪化予想となっています。

### Ⅲ. 製品在庫水準

(小数点第2位を四捨五入)

製品在庫水準の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2021			2022			2023			2024				見込	予測
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		
不足	10.3	12.1	12.3	13.3	13.1	13.2	11.0	9.7	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	6.7	7.6
適正	83.5	82.1	84.2	82.0	82.3	81.2	84.1	83.8	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	89.7	89.7
過剰	6.3	5.7	3.5	4.7	4.7	5.6	4.9	6.5	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	3.6	2.7
D . I .	4.0	6.4	8.8	8.6	8.4	7.6	6.1	3.2	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	3.1	4.9

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

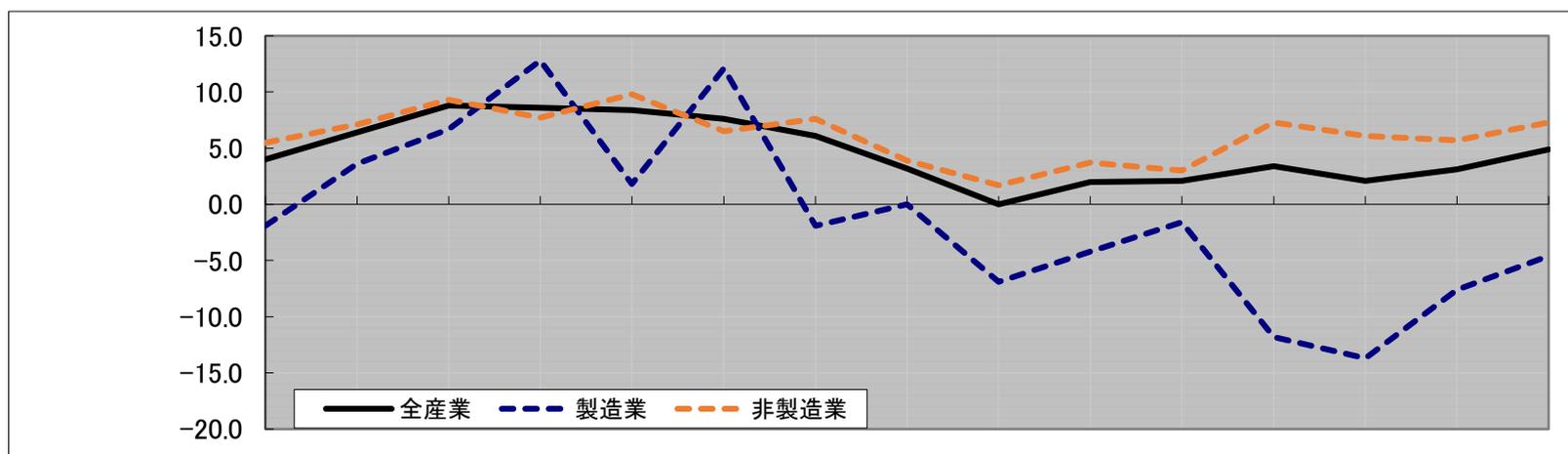
	2021			2022			2023			2024				見込	予測
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		
不足	7.4	12.7	10.0	16.4	10.5	19.0	11.3	15.4	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	4.5	4.5
適正	83.3	78.2	86.7	80.0	80.7	74.1	75.5	69.2	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	83.4	86.4
過剰	9.3	9.1	3.3	3.6	8.8	6.9	13.2	15.4	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	12.1	9.1
D . I .	-1.9	3.6	6.7	12.8	1.8	12.1	-1.9	0.0	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-7.6	-4.6

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2021			2022			2023			2024				見込	予測
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		
不足	11.0	12.0	12.8	12.6	13.6	11.9	10.9	8.6	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.2	8.4
適正	83.5	83.1	83.7	82.4	82.6	82.8	85.8	86.8	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	91.3	90.5
過剰	5.5	4.9	3.5	5.0	3.8	5.4	3.3	4.7	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	1.5	1.1
D . I .	5.5	7.1	9.3	7.7	9.8	6.5	7.6	3.9	1.7	3.7	3.0	7.3	6.1	5.7	7.3



製品在庫水準D.I.はプラス2.1となり前环比1.3ポイント悪化となりました。

製造業はマイナス13.7と前环比1.9ポイントの悪化となりました。非製造業はプラス6.1と前环比1.2ポイント悪化となりました。2024年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。

#### IV. 資金繰状況

(小数点第2位を四捨五入)

資金繰状況の推移…… (全産業) (%)

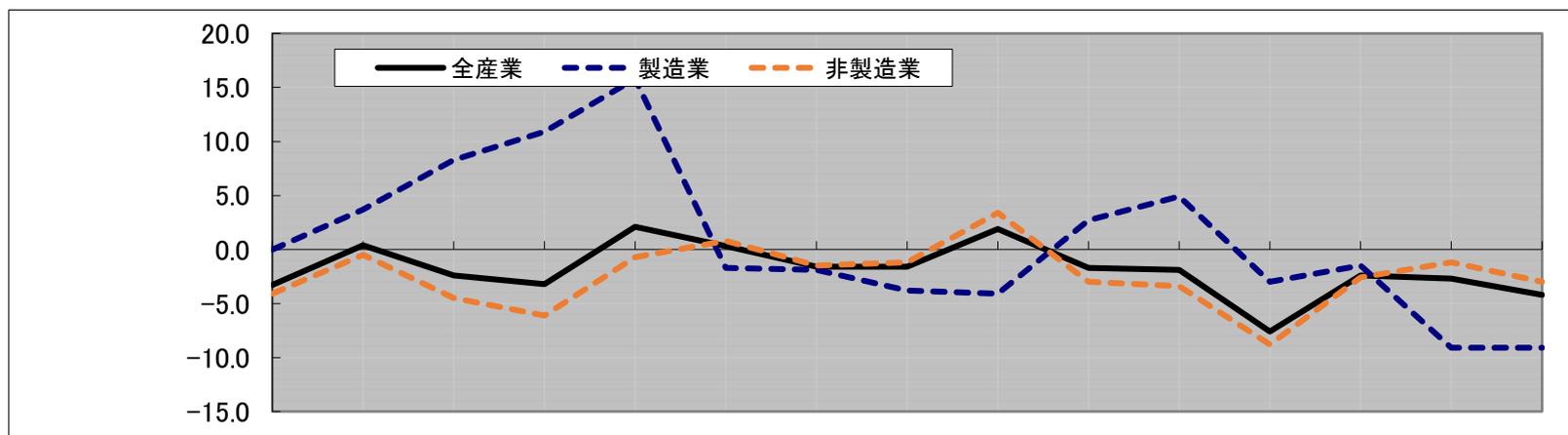
	2021			2022			2023			2024				見込	予測		
	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~			7~	10~
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			9月	12月
ゆるい	14.0	16.8	13.4	15.8	16.9	15.0	14.9	16.8	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	13.7	12.2		
普通	68.8	66.8	70.8	65.2	68.3	70.2	68.6	64.7	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	69.9	71.4		
厳しい	17.3	16.4	15.8	19.0	14.8	14.7	16.5	18.4	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	16.4	16.4		
D . I .	-3.3	0.4	-2.4	-3.2	2.1	0.3	-1.6	-1.6	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	-2.7	-4.2		

資金繰状況の推移…… (うち製造業のみ) (%)

	2021			2022			2023			2024				見込	予測		
	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~			7~	10~
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			9月	12月
ゆるい	14.8	18.2	20.0	21.8	21.1	12.1	7.5	13.5	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	9.1	7.6		
普通	70.4	67.3	68.3	67.3	73.7	74.1	83.0	69.2	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	72.7	75.7		
厳しい	14.8	14.5	11.7	10.9	5.3	13.8	9.4	17.3	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	18.2	16.7		
D . I .	0.0	3.7	8.3	10.9	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	-9.1	-9.1		

資金繰状況の推移…… (うち非製造業のみ) (%)

	2021			2022			2023			2024				見込	予測		
	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~			7~	10~
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			9月	12月
ゆるい	13.8	16.4	12.1	14.6	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	14.8	13.3		
普通	68.3	66.7	71.2	64.8	67.2	69.3	65.8	63.8	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	69.2	70.4		
厳しい	17.9	16.9	16.6	20.7	16.7	14.9	17.8	18.7	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	16.0	16.3		
D . I .	-4.1	-0.5	-4.5	-6.1	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	-1.2	-3.0		



資金繰り状況D.I.は全産業でマイナス2.4と前回比5.2ポイント改善しています。製造業においてはマイナス1.5と前回比1.5ポイント改善しています。2024年7月以降はマイナス幅は拡大していくと予想しています。非製造業はマイナス2.6と前回比6.2ポイント改善しています。2024年7月以降はとマイナス圏内で推移していくと予想しています。

## V. 利益状況

(小数点第2位を四捨五入)

利益状況の推移…… (全産業) (%) 見込 予測

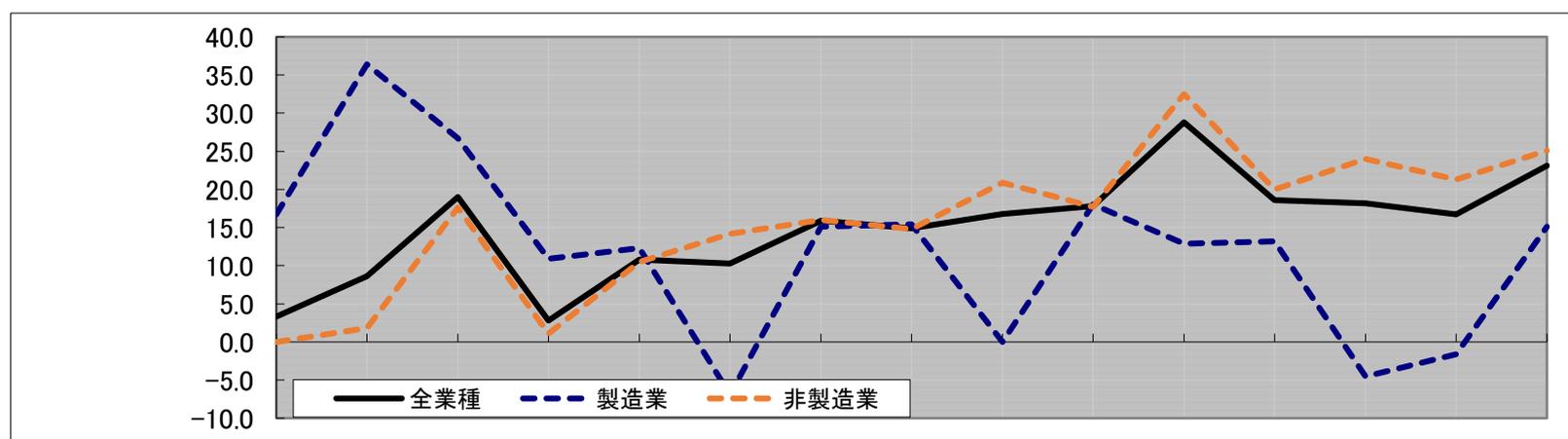
	2021			2022			2023			2024					
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
黒字	34.2	38.6	42.9	36.7	34.6	35.4	42.4	39.8	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	32.5	35.3
収支トントン	34.9	31.4	33.2	29.4	41.6	39.5	31.1	35.3	63.8	39.7	33.6	35.6	38.0	51.7	52.5
償却後赤字	30.9	30.0	23.9	33.9	23.8	25.1	26.5	24.9	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	15.8	12.2
D . I .	3.3	8.6	19.0	2.8	10.8	10.3	15.9	14.9	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	16.7	23.1

利益状況の推移…… (うち製造業のみ) (%) 見込 予測

	2021			2022			2023			2024					
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
黒字	42.6	54.5	55.0	41.8	38.6	29.3	41.5	46.2	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	24.2	34.8
収支トントン	31.5	27.3	16.7	27.3	35.1	34.5	32.1	23.1	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	50.0	45.5
償却後赤字	25.9	18.2	28.3	30.9	26.3	36.2	26.4	30.8	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	25.8	19.7
D . I .	16.7	36.4	26.7	10.9	12.3	-6.9	15.1	15.4	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	-1.6	15.1

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ) (%) 見込 予測

	2021			2022			2023			2024					
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
黒字	32.1	34.7	40.6	35.6	33.8	36.8	42.5	38.5	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	34.6	35.4
収支トントン	35.8	32.4	36.4	29.9	42.9	40.6	30.9	37.7	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	52.1	54.3
償却後赤字	32.1	32.9	23.0	34.5	23.3	22.6	26.5	23.7	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	13.3	10.3
D . I .	0.0	1.8	17.6	1.1	10.5	14.2	16.0	14.8	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	21.3	25.1



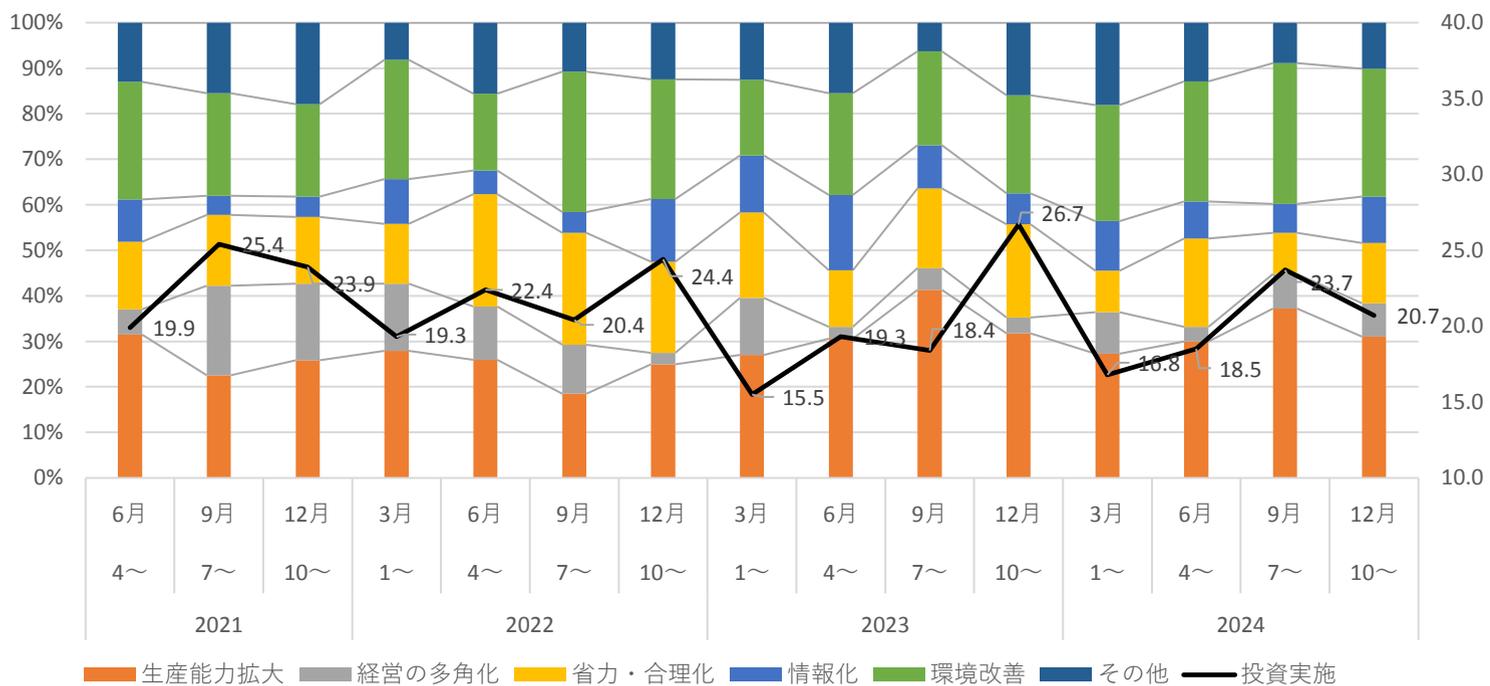
全産業の利益状況D.I.はプラス18.2と前回比0.4ポイントの悪化となっています。製造業ではマイナス4.5と前回比17.7ポイントの大幅悪化、非製造業ではプラス24.0と前回比4.0ポイントの改善となっています。

## VI. 設備投資動向

(小数点第2位を四捨五入)

																見込	予測
	2021			2022			2023			2024							
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
投資実施	19.9	25.4	23.9	19.3	22.4	20.4	24.4	15.5	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.7	20.7		
投資せず	80.1	74.6	76.1	80.7	77.6	79.6	75.6	84.5	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.3	79.3		

																見込	予測
	2021			2022			2023			2024							
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
生産能力拡大	31.5	22.5	25.8	27.9	26.0	18.5	25.0	27.0	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.2	31.0		
経営の多角化	5.6	19.7	16.8	14.8	11.7	10.8	2.5	12.5	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	7.6	7.4		
省力・合理化	14.8	15.5	14.6	13.1	24.7	24.6	20.0	18.8	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	9.0	13.2		
情報化	9.3	4.2	4.5	9.8	5.2	4.6	13.8	12.5	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	6.4	10.2		
環境改善	25.9	22.5	20.2	26.2	16.9	30.8	26.3	16.7	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	30.9	28.1		
その他	13.0	15.5	17.9	8.2	15.6	10.8	12.5	12.5	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	8.9	10.1		



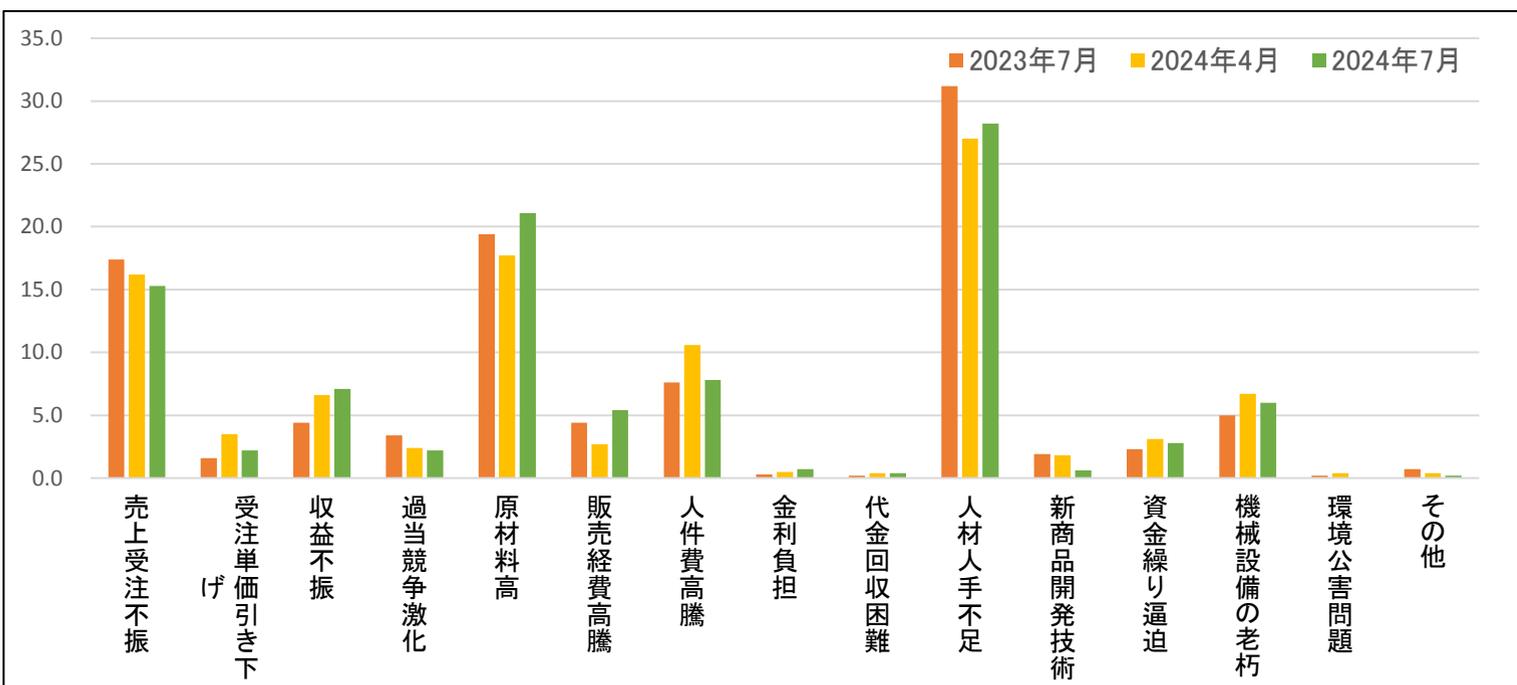
設備投資を実施した企業は18.5%となり、前回比1.7ポイント上昇しています。2024年7月以降の設備投資意欲は改善すると予想しています。

設備投資を実施した目的については、「省力・合理化」が19.4%となり前回比10.3ポイント上昇しました。「生産能力拡大」については30.0%と前回比2.7ポイント上昇しました。「環境改善」については26.4%と前回比0.9ポイント上昇しました。一方で、「経営の多角化」が3.2%となり前回比5.9ポイント下降しました。「情報化」が8.1%となり、前回比2.8ポイント下降しました。

## VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり) (小数点第2位を四捨五入)

	2023年7月 (前年同月)	2024年4月 (前回)	2024年7月 (今回)	2024年7月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	17.4	16.2	15.3	22.2	13.4	▲ 0.9
受注単価引き下げ	1.6	3.5	2.2	1.7	2.4	▲ 1.3
収益不振	4.4	6.6	7.1	6.8	7.2	0.5
過当競争激化	3.4	2.4	2.2	1.7	2.4	▲ 0.2
原材料高	19.4	17.7	21.1	22.2	20.8	▲ 3.4
販売経費高騰	4.4	2.7	5.4	2.6	6.2	2.7
人件費高騰	7.6	10.6	7.8	7.7	7.9	▲ 2.8
金利負担	0.3	0.5	0.7	0.0	1.0	0.2
代金回収困難	0.2	0.4	0.4	0.0	0.5	0.0
人材人手不足	31.2	27.0	28.2	22.2	29.8	▲ 1.2
新商品開発技術	1.9	1.8	0.6	0.9	0.5	▲ 1.2
資金繰り逼迫	2.3	3.1	2.8	1.7	3.1	▲ 0.3
機械設備の老朽	5.0	6.7	6.0	10.3	4.8	▲ 0.7
環境公害問題	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	▲ 0.4
その他	0.7	0.4	0.2	0.0	0.0	▲ 0.2



当面の経営上の問題点として前回より引続き「人材人手不足」が最も多く28.2%となっています。次いで高い項目は「原材料高」の21.1%となります。前回比プラス3.4ポイントとなっており増加傾向となっています。3番目に高い項目は「売上受注不振」の15.3%となります。前回比マイナス0.9ポイントとなっており、下降傾向にあります。

一方で、「人件費高騰」は7.8%と前回比マイナス2.8ポイントと減少傾向にあります。

## 現在の業況、賃金の動向について

回答企業数	329社（うち、製造業66社、非製造業263社）
調査企業数	641社
調査時期	2024年7月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

現在の業況等に関するアンケートでは、「売上減少・受注不振」、「原材料、仕入価格上昇」、「人材・人手不足」、「人件費の高騰」が主な業況悪化の要因となっております。

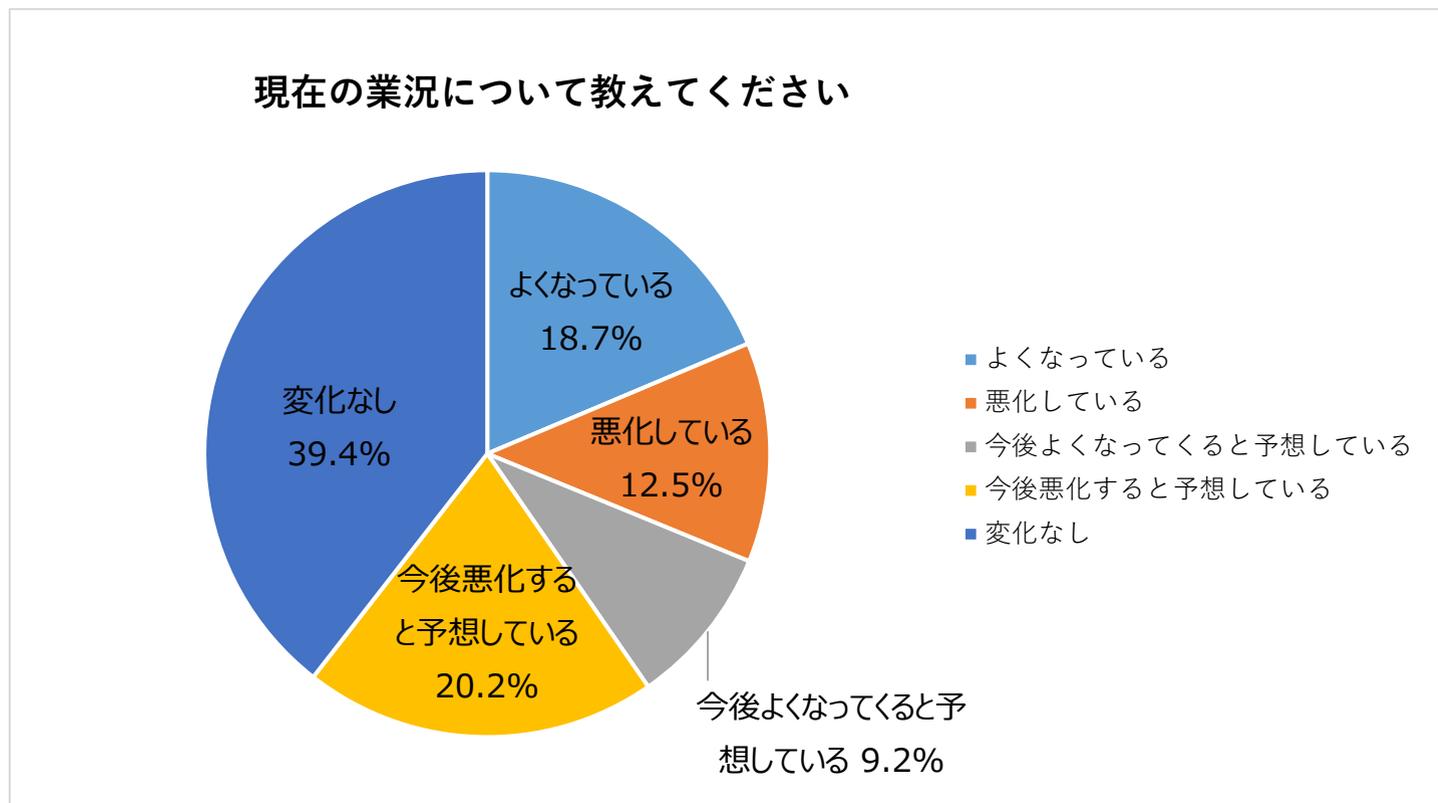
原材料・仕入価格上昇の対応策として、販売価格への転嫁は進んでいますが、労務費の上昇を取引価格に転嫁しにくいこと、かつ継続した賃金改善が企業業績を圧迫している要因であります。

賃金の動向に関するアンケートでは、「今年度賃上げを実施または、予定している企業」が全体の73.1%と大部分を占めております。その内、業績は改善していないものの賃上げを実施している企業が50%を超えており、人材の確保および優秀な人材を繋ぎとめるため、物価上昇や政府の賃上げ要請等を背景に中小企業においても、引き続き賃金改善に取り組む企業が多くみられます。

中小企業を巡る情勢は物価高、人手不足、DXへの対応等により高度化・複雑化しております。特に、人材確保、人材不足は構造的な課題であり簡単に解決することは難しいですが、販売価格等への価格転嫁の促進や生産性の向上を通じて、企業業績を向上させ、賃上げ等を実施しやすい状況を構築することが望まれます。

### 現在の業況等について

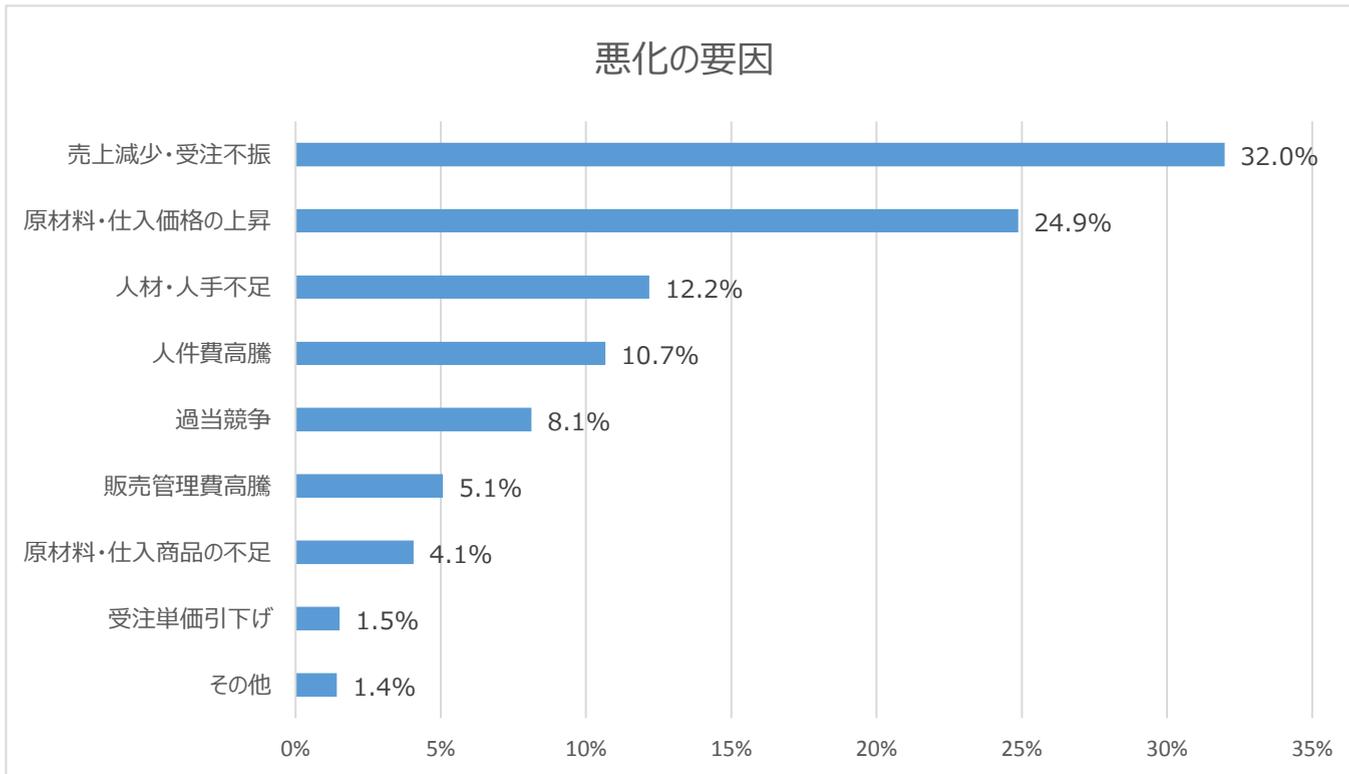
#### 設問1 : 現在の業況について教えてください。



「変化なし」と回答した企業が39.4%と最も多く、次いで「今後悪化すると予想している」と回答した企業が20.2%、「よくなっている」と回答した企業が18.7%となっております。

## 設問2：悪化の原因はなんですか。

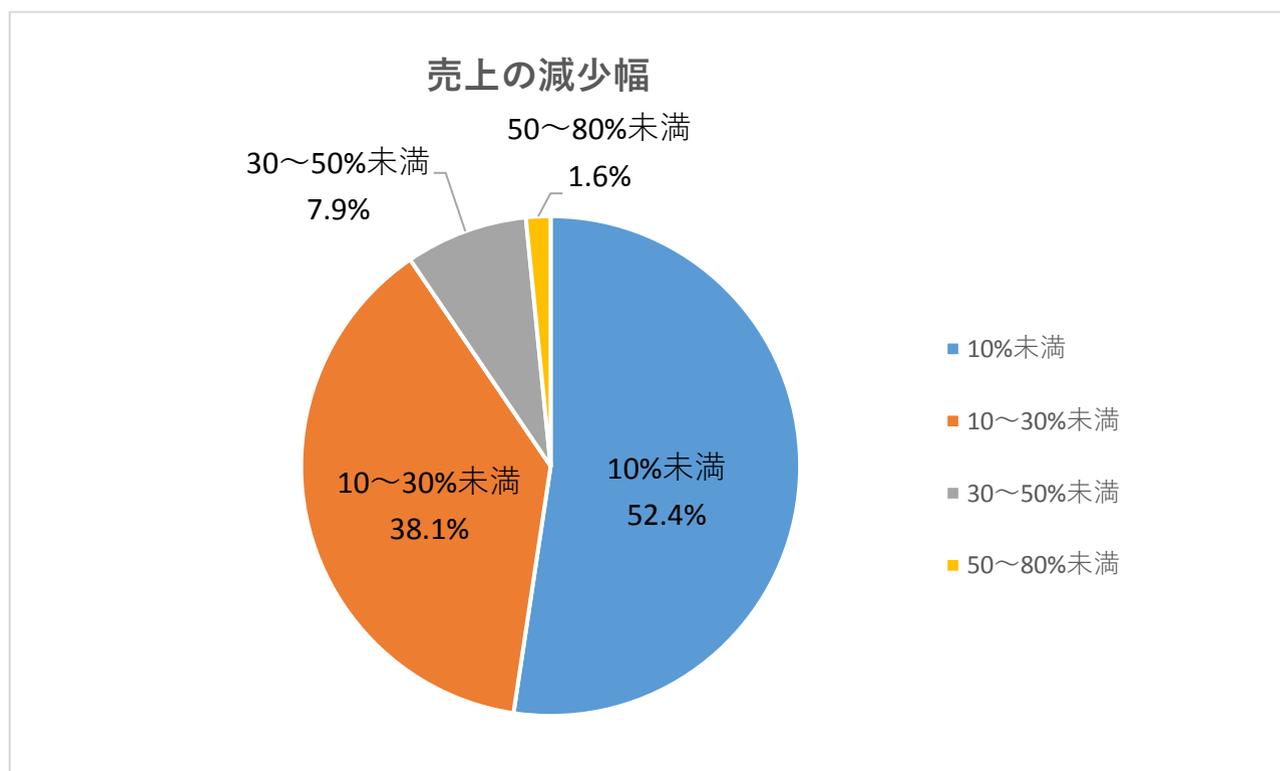
※設問1で「悪化している」「今後悪化すると予想している」と回答された方のみ回答



「売上減少・受注不振」と回答した企業が32.0%と最も多く、次いで「原材料・仕入価格の上昇」が24.9%、「人材・人手不足」が12.2%、「人件費高騰」が10.7%、「過当競争」が8.1%、「販売管理費高騰」が5.1%、「原材料・仕入商品の不足」が4.1%、「受注単価引下げ」が1.5%、「その他」が1.4%となっています。

## 設問3：売上（受注）の減少幅はどれくらいですか。

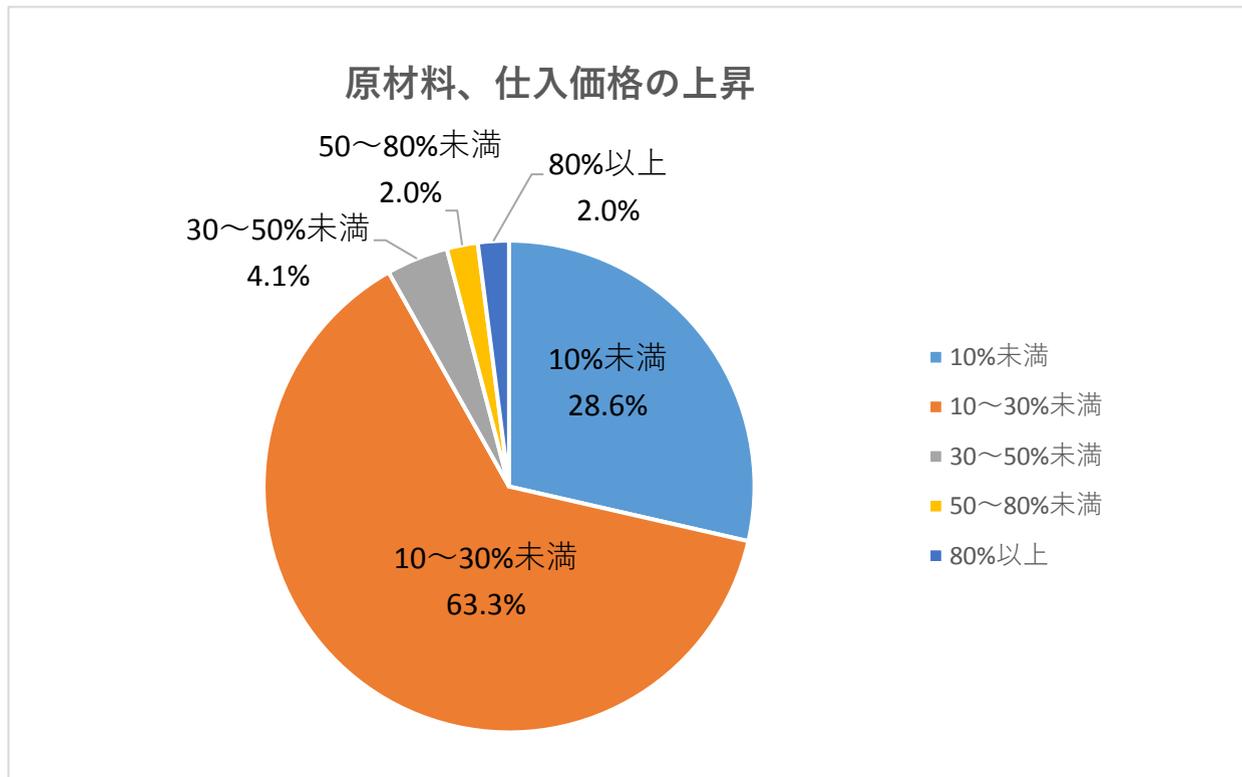
※設問2で「売上減少・受注不振」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が52.4%と最も多く、次いで、「10～30%未満」が38.1%、「30～50%未満」が7.9%、「50～80%未満」が1.6%となっています。

#### 設問4 : 原材料・仕入価格の上昇はどれくらいですか。

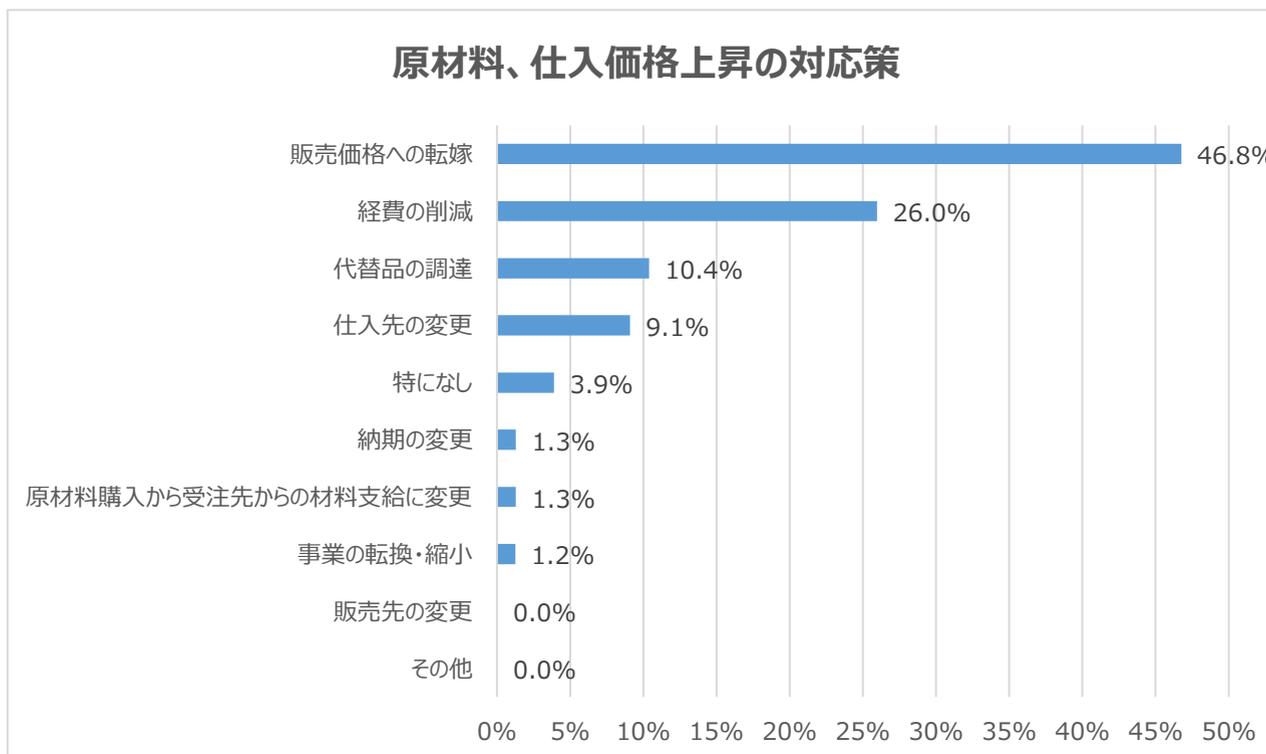
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「10~30%未満」と回答した企業が63.3%と最も多く、次いで、「10%未満」が28.6%、「30~50%未満」が4.1%、「50~80%未満」が2.0%、「80%以上」が2.0%となっています。

#### 設問5 : 原材料・仕入価格上昇の対応策としてどのようなことをしましたか。

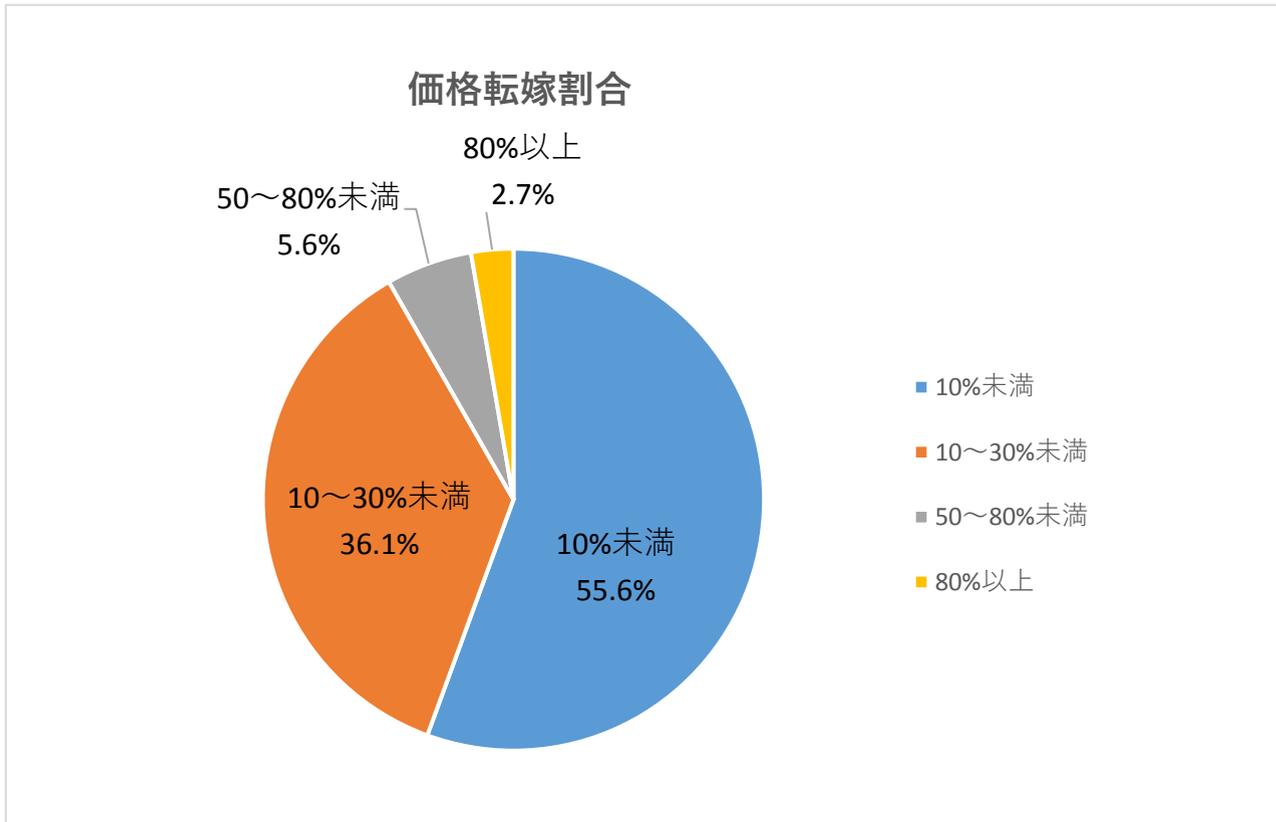
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「販売価格への転嫁」と回答した企業が46.8%と最も多く、次いで「経費の削減」が26.0%、「代替品の調達」が10.4%、「仕入先の変更」が9.1%、「特になし」が3.9%、「納期の変更」が1.3%、「原材料購入から受注先からの材料支給に変更」が1.3%、「事業の転換・縮小」が1.2%となっています。

## 設問6 : どれくらい価格転嫁されましたか。

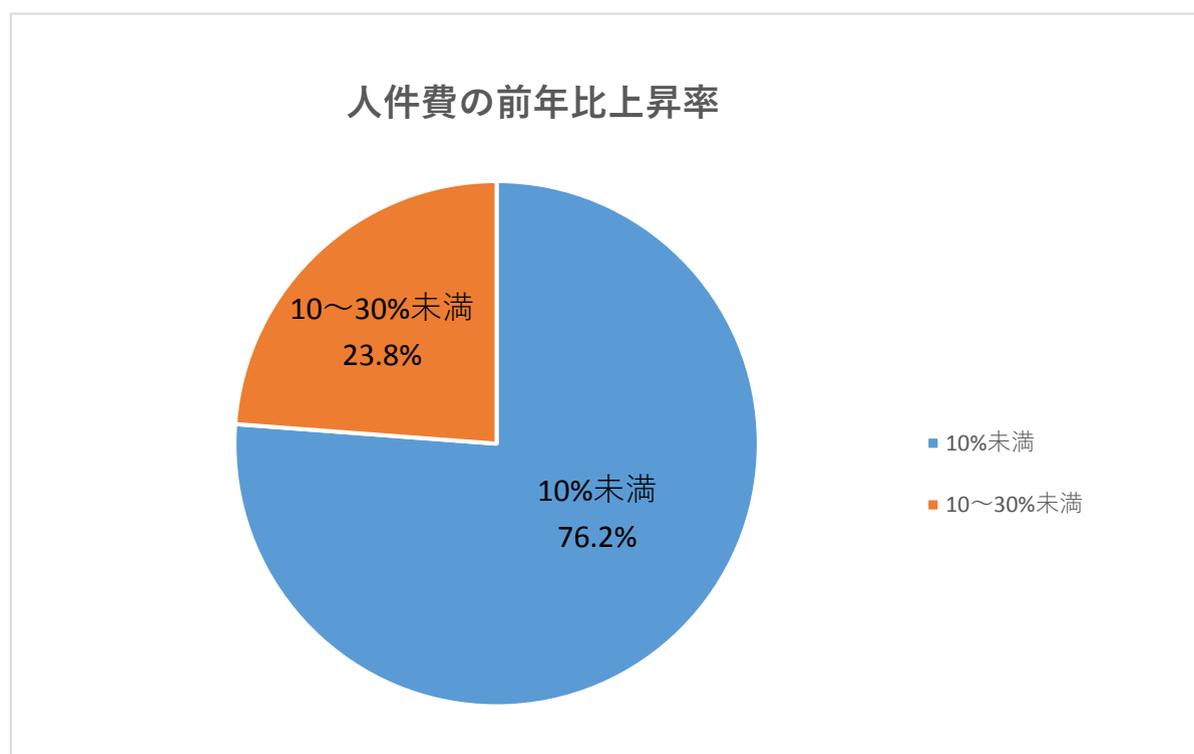
※設問5で「販売価格への転嫁」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が55.6%と最も多く、次いで「10~30%未満」が36.1%、「50~80%未満」が5.6%、「80%以上」が2.7%となっています。

## 設問7 : 人件費は前年度と比較してどれくらい上昇しましたか。

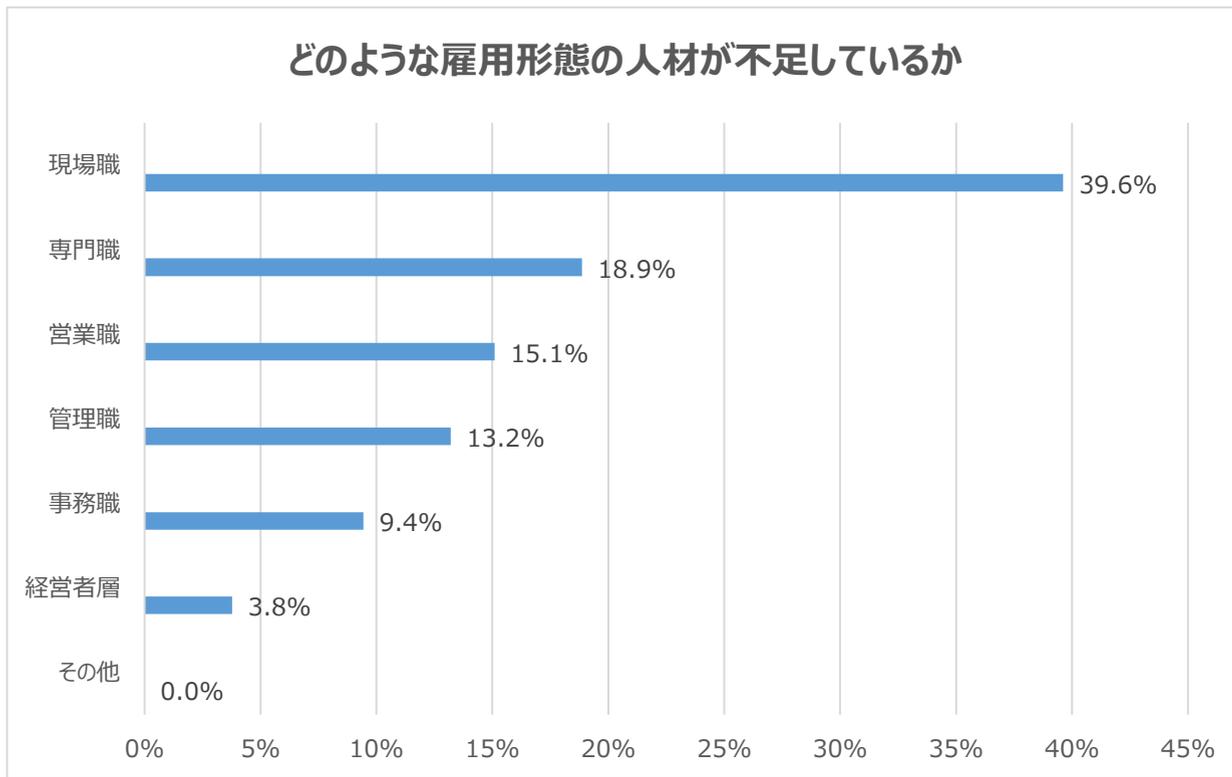
※設問2で「人件費高騰」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が76.2%と最も多く、次いで「10~30%未満」が23.8%となっています。

## 設問8 : どのような雇用形態の人材・人手が不足していますか。

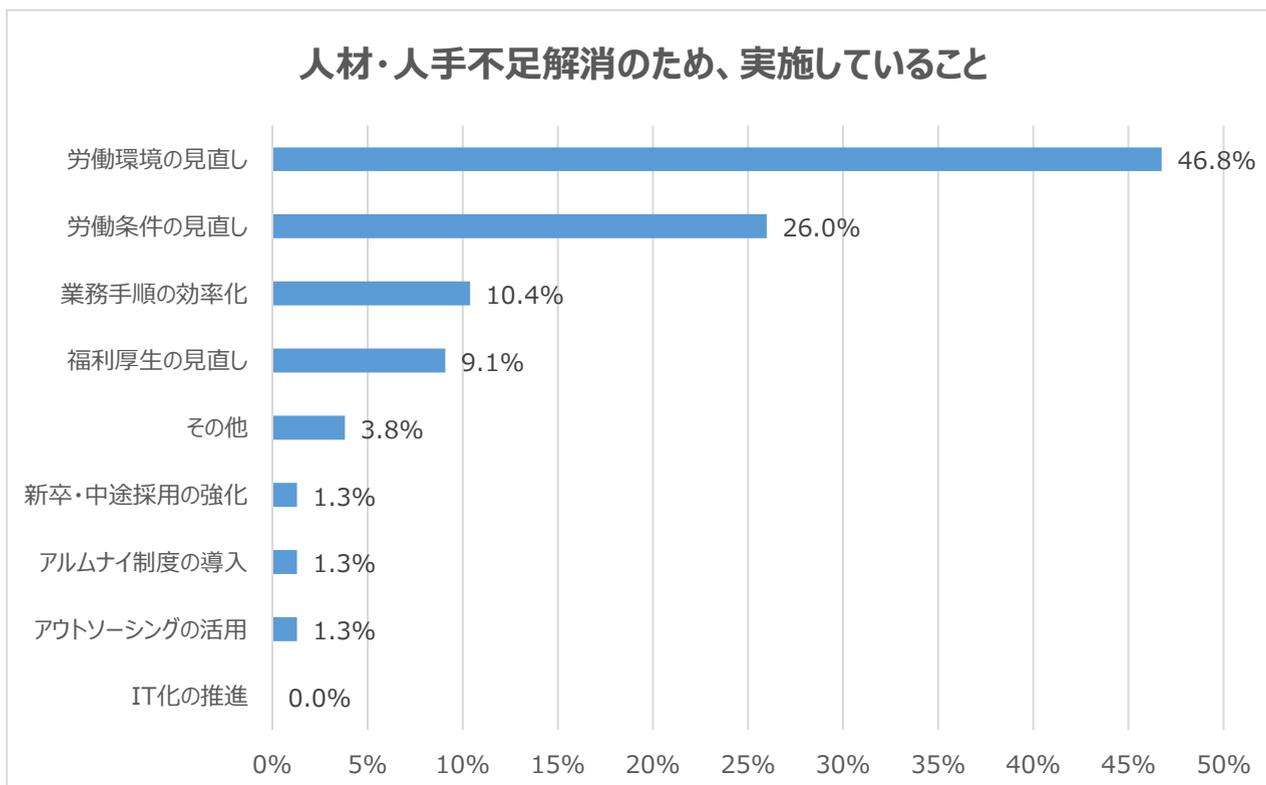
※設問2で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答



「現場職」と回答した企業が39.6%と最も多く、次いで「専門職」が18.9%、「営業職」が15.1%、「管理職」が13.2%、「事務職」が9.4%、「経営者層」が3.8%となっています。

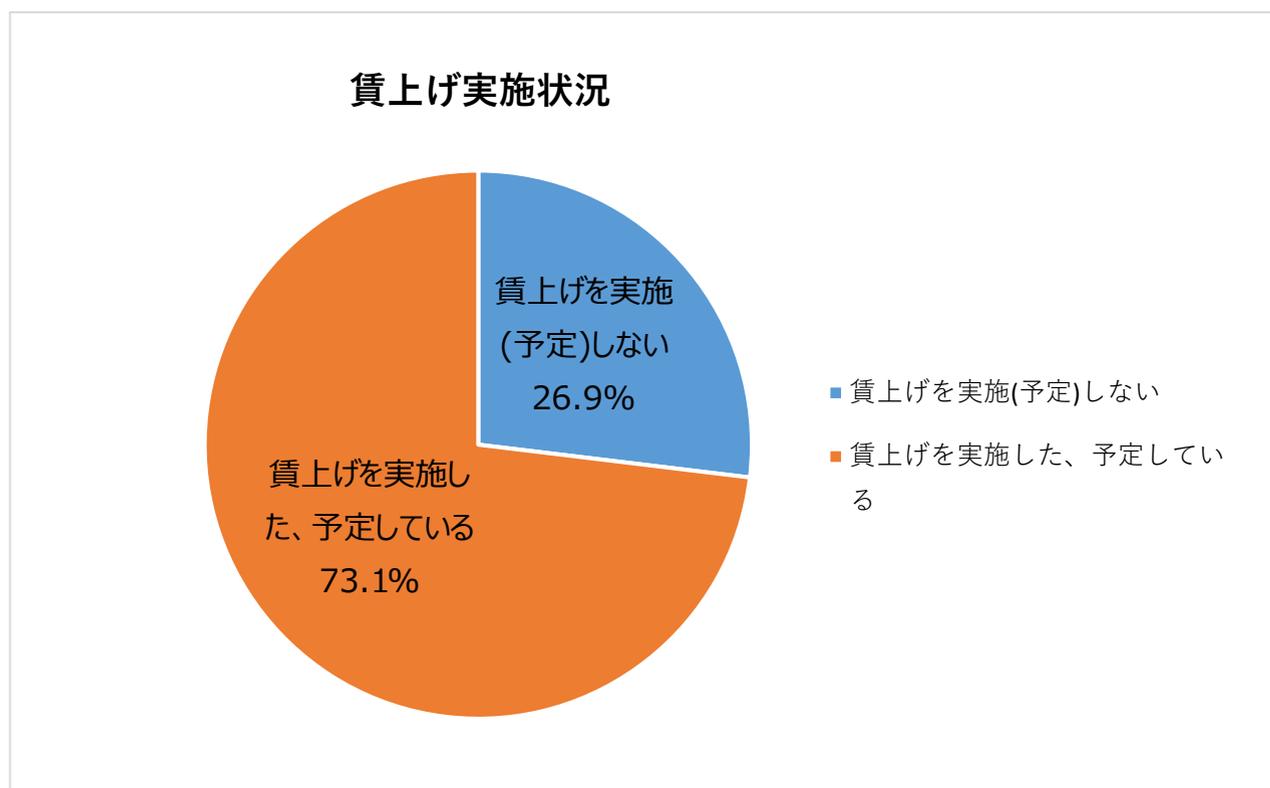
## 設問9 : 人材・人手不足解消のため、実施していることがあれば教えてください。

※設問2で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答



「労働環境の見直し」と回答した企業が46.8%と最も多く、次いで「労働条件の見直し」が26.0%、「業務手順の効率化」が10.4%、「福利厚生の見直し」が9.1%、「その他」が3.8%、「新卒・中途採用の強化」、「アルムナイ制度の導入」、「アウトソーシングの活用」が1.3%と同水準となっています。

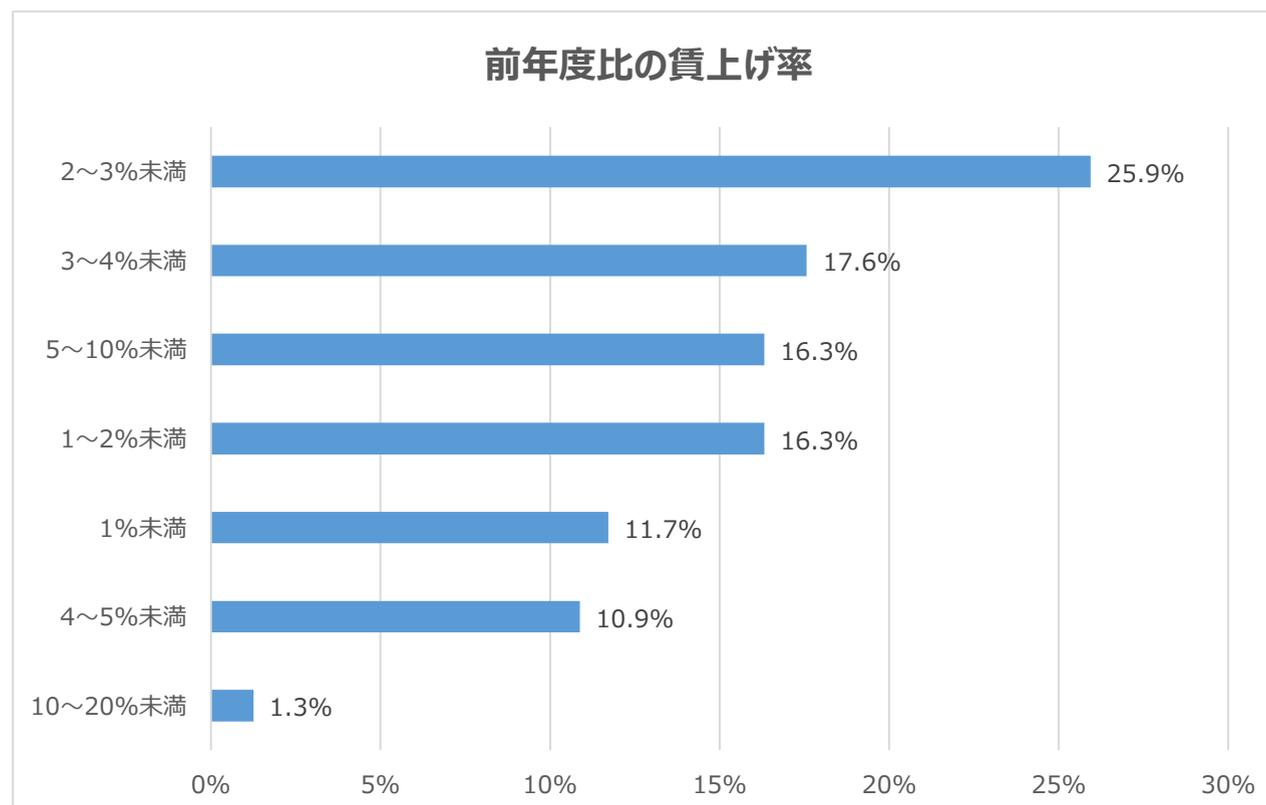
設問10 : 今年度賃上げを実施しましたか。



今年度に「賃上げを実施した、予定している」と回答した企業が73.1%となっており、「賃上げを実施(予定)しない」と回答した企業26.9%となっています。

設問11 : 前年度比で賃上げ率はどの程度ですか。

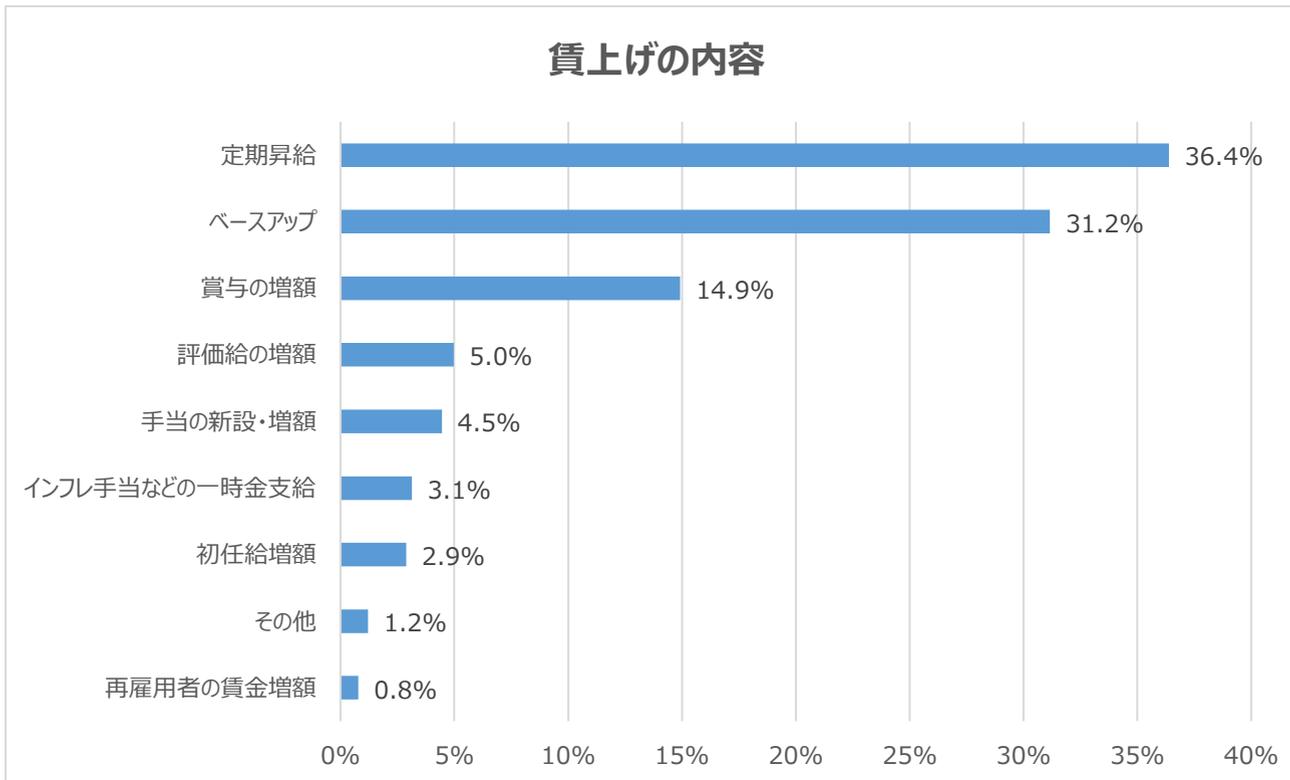
※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



前年度比の賃上げ率は「2~3%未満」と回答した企業が25.9%と最も多く、次いで「3~4%未満」が17.6%、「5~10%未満」が16.3%、「1~2%未満」が16.3%、「1%未満」が11.7%、「4~5%未満」が10.9%、「10~20%未満」が1.3%となっています。

## 設問12 : 賃上げの内容は何ですか。

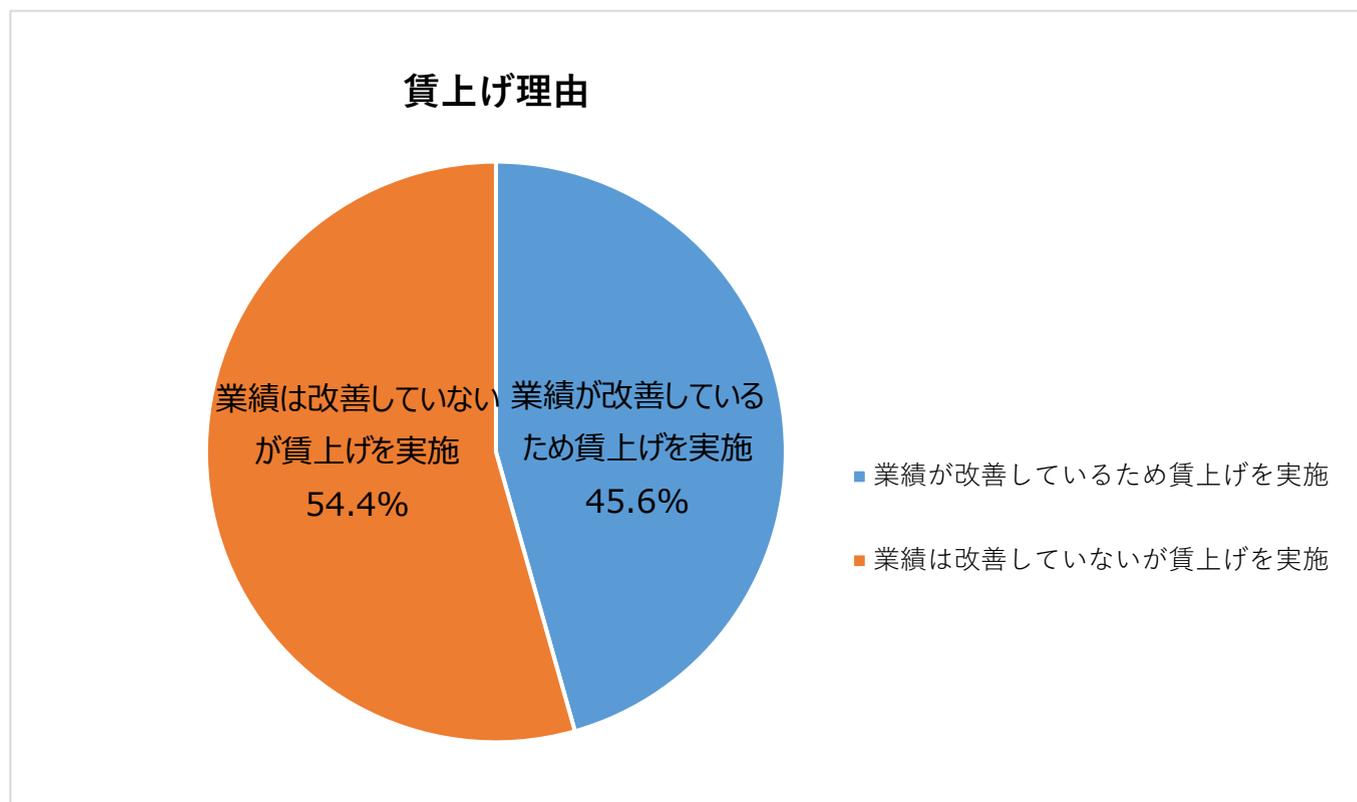
※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



「定期昇給」と回答した企業が36.4%と最も多く、次いで「ベースアップ」が31.2%、「賞与の増額」が14.9%、「評価給の増額」が5.0%、「手当の新設・増額」が4.5%、「インフレ手当などの一時金支給」が3.1%、「初任給増額」が2.9%、「その他」が1.2%、「再雇用者の賃金増額」が0.8%となっています。

## 設問13 : 賃上げをした理由はどちらですか。

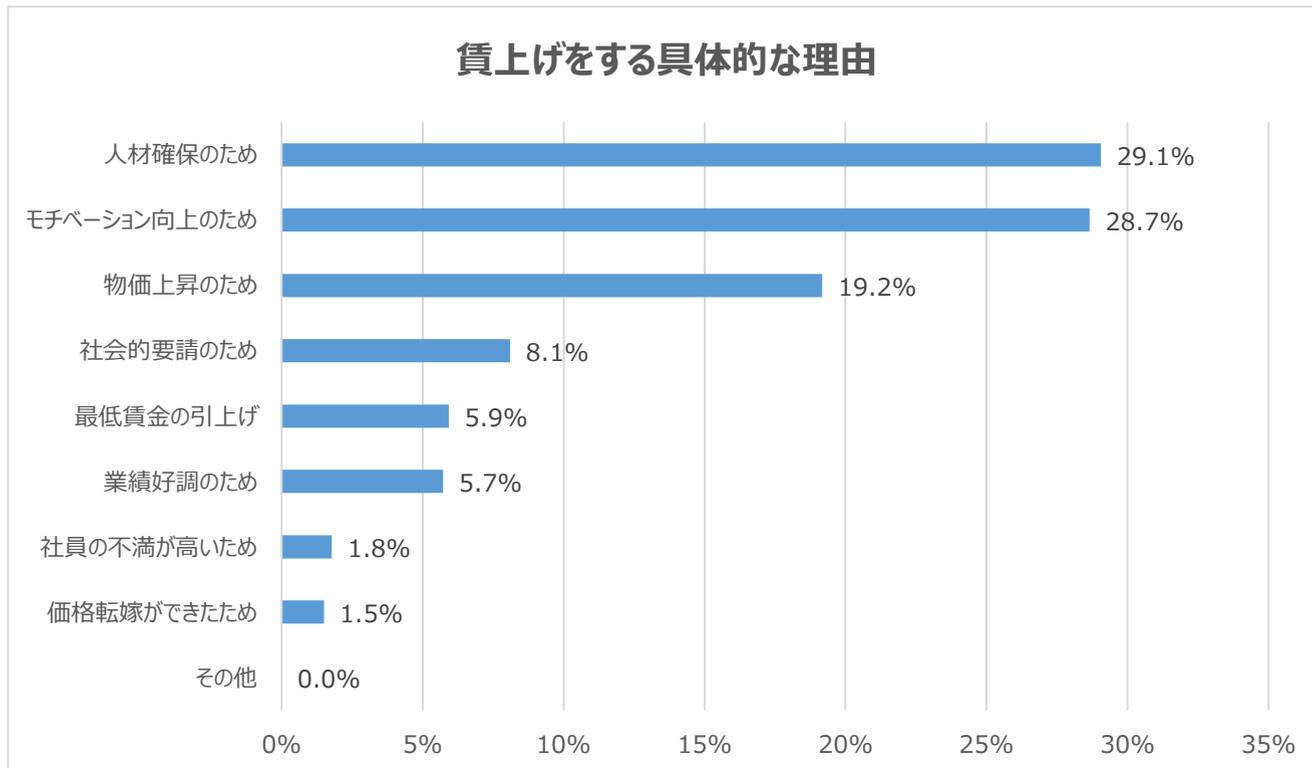
※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



「業績は改善していないが賃上げを実施」と回答した企業が54.4%、業績が改善しているため賃上げを実施」と回答した企業が45.6%となっており、業績が改善していないものの物価高の影響や人材確保の側面より賃上げを実施した企業が多い結果となっています。

## 設問14：賃上げする具体的な理由は何ですか。

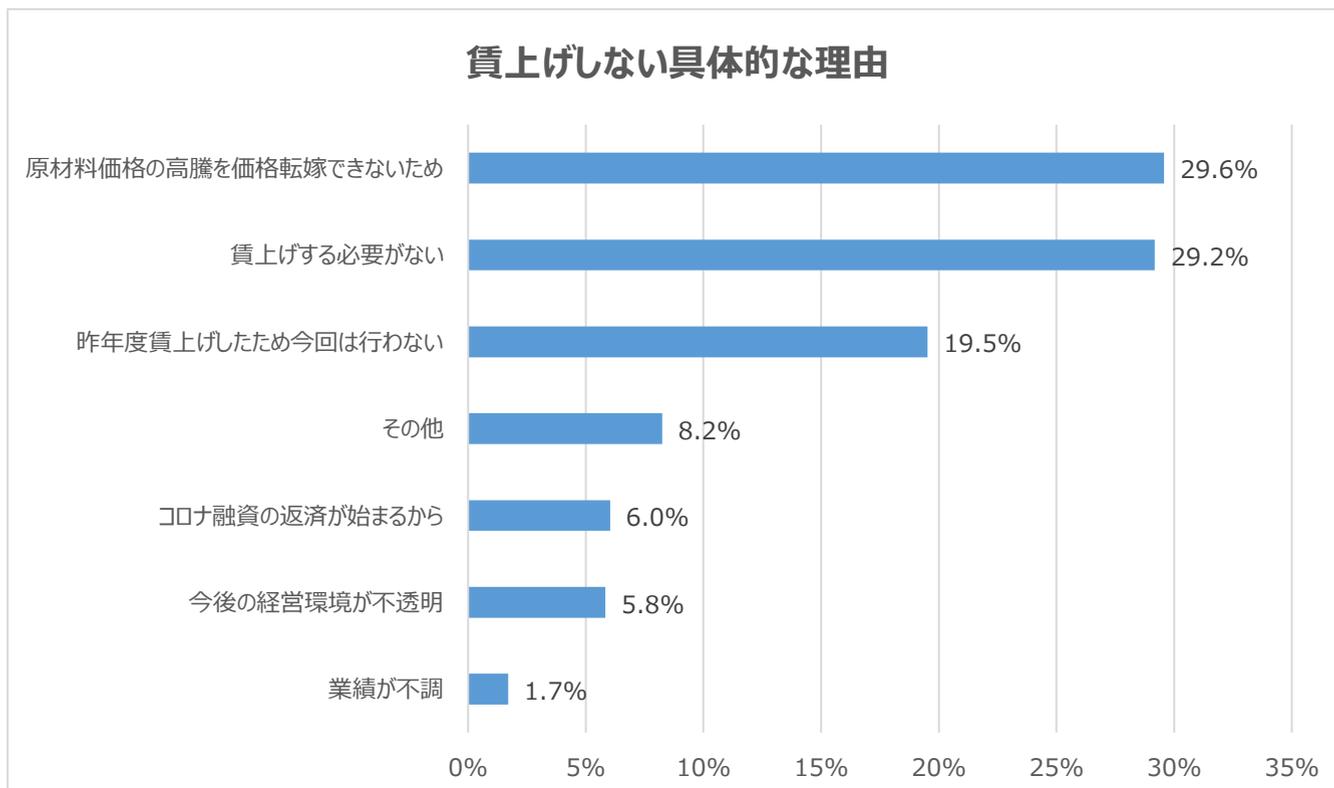
※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



「人材確保のため」と回答した企業が29.1%と最も多く、次いで「モチベーション向上のため」が28.7%、「物価上昇のため」が19.2%、「社会的要請のため」が8.1%、「最低賃金の引上げ」が5.9%、「業績好調のため」が5.7%、「社員の不満が高いため」が1.8%、「価格転嫁ができたため」が1.5%となっています。

## 設問15：賃上げをしない具体的な理由は何ですか。

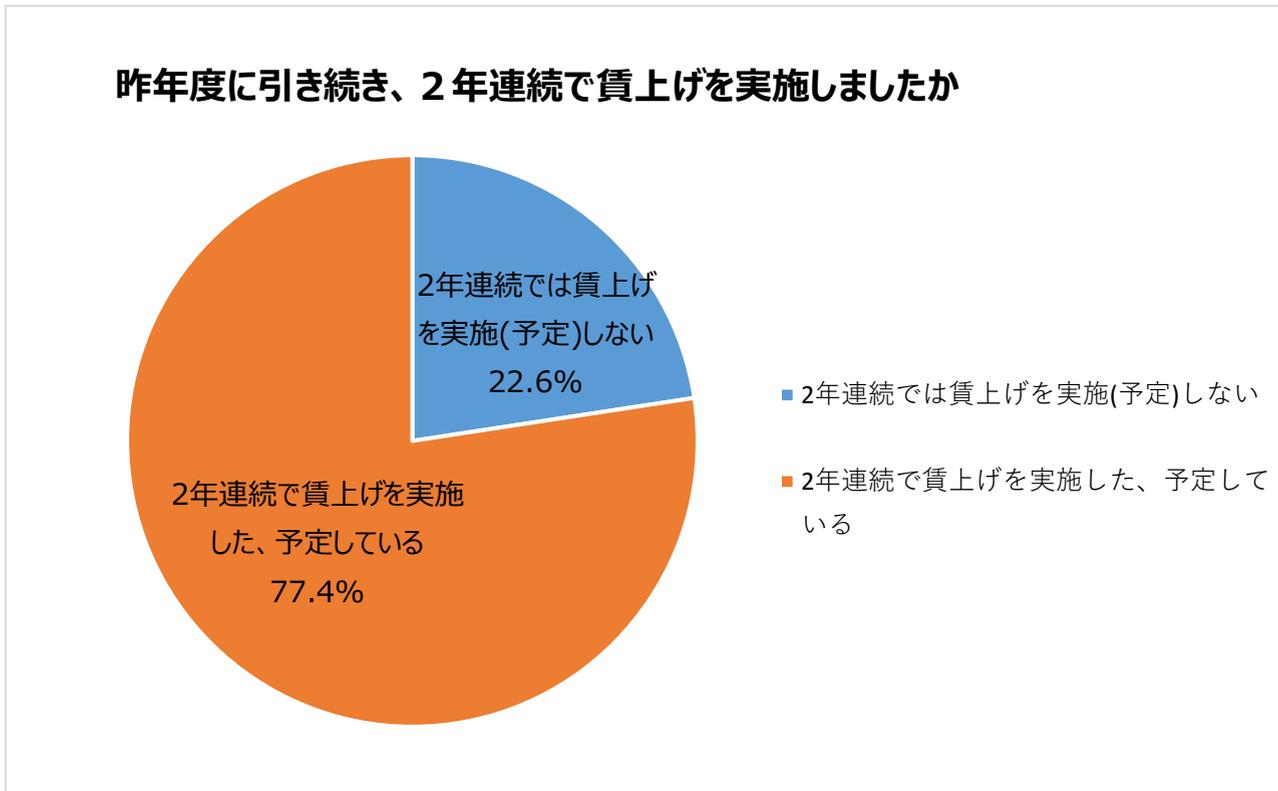
※設問10で「賃上げを実施（予定）しない」と回答された方のみ回答



「原材料価格の高騰を価格転嫁できないため」と回答した企業が29.6%と最も多く、次いで、「賃上げする必要がない」が29.2%、「昨年度賃上げしたため今回は行わない」が19.5%、「その他」が8.2%、「コロナ融資の返済が始まるから」が6.0%、「今後の経営環境が不透明」が5.8%、「業績が不調」が1.7%となっています。

**設問16 : 昨年度に引き続き、2年連続で賃上げを実施しましたか。**

※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



「2年連続で賃上げを実施した、予定している」と回答した企業が77.4%、「2年連続では賃上げを実施（予定）しない」と回答した企業が22.6%となっています。

メモ

# 法人コンサルティングサービスのご案内

## お客さまのお取り組み

売上増加

成長戦略

経営改善

事業承継

IT・効率化

人事施策

サステナブル

気候変動

ガバナンス



将来のあるべき姿を  
考えたい

経営課題を  
解決したい

サステナブル経営を  
実現したい

幅広いメニューであらゆるステージに対応しています

## コンサルティング面でのサポート

### 【コンサルティングサービス（伴走支援）】

- 成長戦略策定支援サービス
- 経営改善支援サービス
- 各種補助金申請のご支援
- BCP計画策定サポート
- DXコンサルティング
- 人事評価制度・賃金体系

### 【SDGs取組支援サービス】

- お客さまのSDGs宣言のサポートから、SDGsに資する取組みの実行をサポートいたします

### 【カーボンニュートラルサービス】

- お客さまのCO2排出量の算出
- CO2削減ソリューションのご提案
- 再生可能エネルギー導入のご提案
- SBT認証（国際認証）の取得

### 【ビジネスマッチング】

- 経営課題を解決する最適なツールをご提案
- 企業同士のニーズとシーズの引き合わせ
- アウトソーシングニーズ、コストダウンニーズ、不動産ニーズ、リースニーズにも対応

### 【人材紹介】

- 必要な人材を紹介し、お客さまの経営力強化に貢献します

### 【事業承継・M&A】

- 事業承継、M&A、親族承継から第三者承継まで、あらゆる状況に応じた最適なお支援を実施します

## サステナブル面でのサポート

### 【ファーストSDGs私募債（寄贈型）】

- 手数料の優遇金額分を、ご利用のお客さまの目的に応じて寄付を行なう仕組みです

### 【ファースト・サステナビリティ・リンクローン】

- 本枠組みで、お客さまのサステナビリティの将来計画するお取組みに対して、第三者評価機関から評価を得て対外的にアピールします
- お客さまの経営理念、行動指針の具現化へのESG目標を定め行動することで、お客様の持続可能性と社会への貢献を高めることをサポートします

### 【ファースト・グリーンローン】

- 高い環境効果があるグリーンプロジェクトをファイナンスでサポートいたします。本枠組みの中で、外部評価機関の認証を取得し、お客さまのお取組みを対外的にアピールします

### 【ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

- 経済・環境・社会の3つの側面について、企業活動から生まれるポジティブ・ネガティブなインパクトを定量化し、独自の目標を設定する一連のお取組みに対して分析・評価し、対外的にアピールします

### 【省エネルギー設備投資に係る利子補給】

- 省エネ設備投資に対する金融支援

### 【地域脱炭素融資促進利子補給】

- 低炭素設備投資に対する金融支援（再生可能エネルギー等）

# 中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

**売上UP**  
どうすれば…

**販路拡大**  
方法は…

企業の常備薬として

**人材育成**  
進まない…

**後継者**  
決められない…

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。  
地域に根ざしているからこそ力になれる  
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>